



みなさま、糖尿病という病気はほとんどの方がご存じかと思えます。その糖尿病の合併症の一つとして、糖尿病網膜症というものがあります。読んで字のごとく目の中の網膜、昔のカメラで言うフィルムが侵されてしまう病気です。

一般的には、糖尿病になり5年ほど無治療のまま放っておくと網膜症が発生するといわれています。その症状ですが、初めは小さな約0.1mm程度の出血が出現します。糖尿病の程度がひどいとだんだん数も増えていきますし、大きくなってきます。

ここで注意しなくてはならないことは、視力に関係する場所に出血すれば視力が低下するので自覚できませんが、視力に関係しない場所では出血した場合には無自覚となり、「自分は糖尿病だけど視力が低下していないから大丈夫だ、と勘違いしてしまう」ということです。糖尿病になった場合、内科医と相談し、年に数回は眼底検査をしていただきたいと考えます。

どんな病気でも早期発見、早期治療が原則ですし、早めに手当てをすれば悪化を防ぐことができます。

また、眼科受診する場合、ご自分で車を運転しないでください。多くの場合、薬を点眼し瞳孔を大きくしてから眼底検査を行います。瞳孔を大きくしてしまいますと、視界もぼやけますし、眩しくて車の運転ができなくなります。よって運転をして受診した場合には、その点眼ができまませんので、眼底検査は後日となります。二度手間を防ぐために、ご自分で運転しての受診はお控えください。

目次

特集

「子どもの急病」  
知っておきたい受診の目安 1

情報ファクトリー

県民の命を守るために  
県内タバコゼロ(無煙生活) 宣言! 5

こころの健康 教えてドク太くん!

不眠・不安・焦燥感 6

こども相談室

こどもの高熱、脳へのダメージについて 7

千葉県インフォメーション

・千葉県民に知ってほしい「DWAT」!  
・夜間・休日診療、救急車利用についてのお願ひ 8

スポーツコーナー

「新しい生活様式」における、  
季節はずれの熱中症予防行動のポイント 10

元気からだ! Q&A

家族のための栄養バランスの良い  
食事を作るためには? 11

旬食野菜クッキング

チーズ入り芋きんとん 12

医師会インフォメーション

間違い探しクイズ、プレゼント 他 13